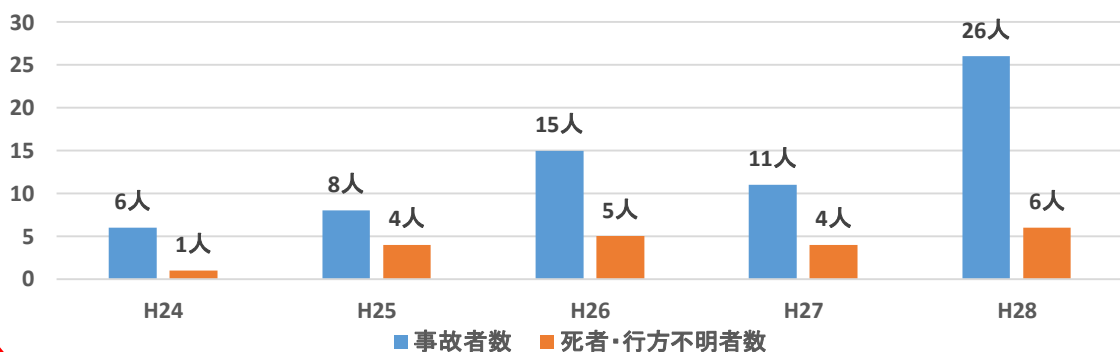


海水浴シーズン到来！！ ～安全に海を楽しむために～

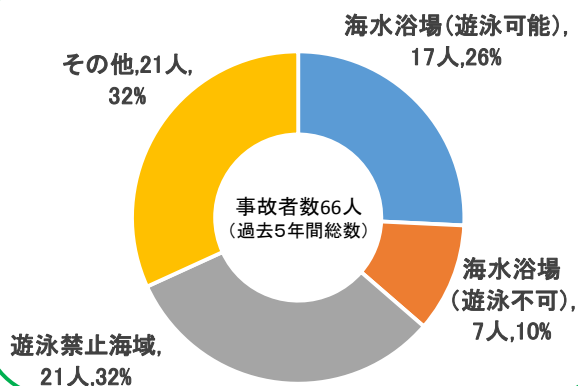
東北地方における過去5年間の遊泳中の事故者数は66人で、このうち死者・行方不明者数は20人でした。

事故発生場所別では、遊泳可能な海水浴場以外における事故が全体の約74%を占めており、事故内容別では、溺水によるものが全体の約55%を占めています。

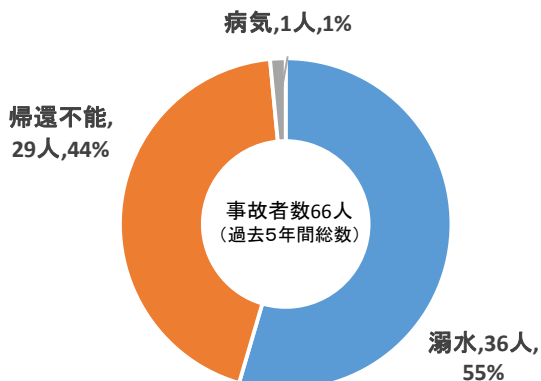
【事故者数及び死者・行方不明者数の推移(過去5年間)】



【事故発生場所別割合(過去5年間)】



【事故内容別割合(過去5年間)】



第二管区海上保安本部 海の安全推進室

宮城県塩釜市貞山通3-4-1

(代表) 022-363-0111

(直通) 022-365-9609



マリレよろず

検索

遊泳時の注意事項！

◆遊泳可能区域で泳ごう！

海水浴場の開設区域・期間を守って泳ぎましょう。



◆準備運動をしっかりしよう！

準備運動をしっかりして、自分の体力・泳力にあった行動をしましょう。沖に向かって泳ぐ場合、戻ってくる分の体力も必要になります。

◆グループで行動しよう！

特に、保護者は子供から目を離さないようにしましょう。



◆離岸流に注意しよう！

離岸流に流された場合の対処方法について知っておきましょう。

- ①流れに逆らって泳がない。
- ②岸と平行に泳ぐ。(離岸流の幅は10～30メートル)
- ③離岸流から抜け出せたら岸に向かって泳ぐ。



◆飛び込みなどの危険行為はやめよう！

海の水深は時間毎に変化します。飛び込んだ場所の水深が浅かった場合、海底や岩にぶつかり怪我をしてしまいます。



◆飲酒後の遊泳はやめよう！

飲酒が要因の遊泳中の事故は、飲酒しない場合と比較して死亡率が約2倍になります。飲酒後の遊泳は、絶対にやめましょう。

◆気象海象情報を入手しよう！

海水浴場に行く前に、海上保安庁が情報提供している「海の安全情報」サイト等を用いて事前に気象海象情報を入手しておきましょう。



自分の命を守るためには、自らの心がけが重要です！！



マリレ情報よろず屋
～バックナンバーはこちら～

海の安全情報スマホ版サイト
(沿岸域情報提供システム)

